

第 3 回 館 山 市 議 会 定 例 会 会 議 録

(第 5 号)

1 平成7年9月28日(木曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 25名

1 番	辻田	実	2 番	本橋	亮一
3 番	三上	英男	4 番	小幡	一宏
5 番	忍足	利彦	6 番	鈴木	順子
7 番	斉藤	実	8 番	増田	基彦
9 番	島田	保	10 番	宮沢	治海
11 番	秋山	光章	12 番	植木	馨
13 番	脇田	安保	14 番	永井	龍平
15 番	山崎	雅己	16 番	鈴木	忠夫
17 番	岩村	勝弘	18 番	日下	君敏
19 番	川名	正二	20 番	神田	守隆
21 番	山中	金治郎	22 番	榎本	春光
23 番	石井	昌治	24 番	福原	勤
25 番	飯田	義男			

1 欠席議員 なし

1 出席説明員

市 長	庄司 厚	助 役	小幡 清之
収 入 役	川上 義雄	企 画 部 長	永野 修
総 務 部 長	神子 純一	市 民 福 祉 部 長	渡辺 富雄
経 済 環 境 部 長	小沼 晃	建 設 部 長	三平 孝司
水 道 課 長	谷貝 実	教 育 委 員 会 長	田村悦智子
教 育 委 員 会 長	高橋 博夫	選 挙 管 理 委 員 会 長	加藤 利
選 挙 管 理 委 員 会 長	寺嶋 清	監 査 委 員	山田 教和
監 事 局 書 記 長		農 業 委 員 会 長	斉藤 明
監 事 局 長	田村 哲也		

農 業 委 員 会
事 務 局 長 佐久間 宏

1 出席事務局職員

事務局 長	兵藤 恭一	事務局 長 補 佐	鈴木 哲
書 記	四ノ宮 朗	書 記	安田 仁一
書 記	小山 真	書 記	松浮 郁夏

1 議事日程（第5号）

平成7年9月28日午前10時開議

- | | | | |
|------|---|--------|-------------------------------|
| 日程第1 | { | 議案第50号 | 館山市土地開発公社設立の主旨及び定款を定めるについて |
| | | 議案第51号 | 工事請負契約の締結について |
| | | 議案第52号 | 平成7年度館山市一般会計補正予算（第2号） |
| 日程第2 | | 請願第2号 | 救急医療施設を併設した安房医師会病院建設促進に関する請願書 |

日程第3 継続審査について

- | | | | |
|------|---|-------|-----------------------------------|
| 日程第4 | { | 認定第1号 | 平成6年度館山市一般会計歳入歳出決算の認定について |
| | | 認定第2号 | 平成6年度館山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について |
| | | 認定第3号 | 平成6年度館山市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について |
| | | 認定第4号 | 平成6年度館山市ユースホステル特別会計歳入歳出決算の認定について |
| | | 認定第5号 | 平成6年度館山市学童災害共済事業特別会計歳入歳出決算の認定について |
| | | 認定第6号 | 平成6年度館山市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について |
| | | 認定第7号 | 平成6年度館山市水道事業特別会計収支決算の認定について |

- 日程第5 { 認定第 8 号 平成6年度館山市国民宿舎事業特別会計収支決算の認定について
- { 発議案第12号 第6次海岸事業5箇年計画策定と計画規模の大幅な拡大に関する意見書について
- { 発議案第13号 平成8年度河川改修事業の予算確保に関する意見書について

開 議 午前10時01分

◎議長（辻田 実君） 本日の出席議員数25名、これより第3回市議会定例会第5日目の会議を開きます。

議案の配付

◎議長（辻田 実君） 議案を配付いたします。

議案の配付漏れはありませんか。 — 配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

議案の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第1、議案第50号乃至議案第52号の各議案を一括して議題といたします。

総務委員会委員長報告

◎議長（辻田 実君） ただいま議題となりました各議案は、9月19日の本会議において総務委員会に付託されたものであります。

よって、これより総務委員会における審査の経過並びに結果につき、委員長の報告を求めます。

総務委員会委員長脇田安保さん。御登壇願います。

（総務委員会委員長脇田安保君登壇）

◎総務委員会委員長（脇田安保君） ただいま議題となりました議案第50号乃至議案第52号に係る総務委員会における審査の経過並びに結果について御

報告申し上げます。

去る9月19日の本会議におきまして本委員会に付託されました各議案につきまして、22日委員会を招集し、審査を行いました。

以下、その質疑応答等、主なものについて申し上げます。

まず、議案第50号館山市土地開発公社設立の主旨及び定款を定めるについてであります。館山市土地開発公社設立の理由を質問したところ、現行の開発公社では、地権者に対し租税特別措置法の適用が少なかったが、今回設立しようとする土地開発公社については原則適用になる。また、現行の公社では課税となっていた法人税、事業税等が非課税となるなどの長所があるとの回答がありました。

また、運営面において、当面の目標については、都市計画道路、市道、ウェルネスリゾートパーク計画、最終処分場用地の取得であるとの説明がありました。

さらに委員から、運用財産が少ないのではないかととの質問に対し、人件費、事務的経費であり、物件の購入については、金融機関から借り入れ、市が債務保証をするとの説明がありました。

次に、議案第51号工事請負契約の締結についてであります。入札参加業者の状況と汐入川下流排水路浄化施設との比較はどうかとの質問について、今回の一般競争入札の申し込み業者は19社であったが、制限の中に接触曝気式の実績があるところが対象であったため、5社が失格となり、14社となった。汐入川下流排水路浄化施設は、処理能力日量最大1,300トン、金額は2億4,411万円であり、今回の施設が金額的に高いのは、3つの排水路からの取水施設の工事がかなりのウエートを占めるためであるとの回答がありました。

委員から、施工管理について十分配慮するようとの要望がありました。

また、討論において、この排水処理施設は、海の環境保護にとって喜ばしいことである。この施設の完成を機に、きれいな海となるよう地元としても努力をしなければならないが、市に対しても特段の配慮を要望するとともに、那古下水路の改修工事との整合を含めて今後の対策を要望して、賛成すると

の意見がありました。

採決の結果、付託を受けました議案第50号乃至議案第52号については、全員一致をもっていずれも原案どおり可決すべきものと決しました。

以上御報告申し上げまして、総務委員会委員長報告を終わります。

◎議長（辻田 実君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（辻田 実君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。

— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。— 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。

採決は一括して行います。

各議案についての委員長報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、各議案はいずれも原案どおり可決されました。

請願書の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第2、請願第2号救急医療施設を併設した安房医師会病院建設促進に関する請願書を議題といたします。

◎議長（辻田 実君） ただいま議題となりました請願第2号は、地域医療問題調査特別委員会に付託され、継続審査とされていたものであります。

よって、これより地域医療問題調査特別委員会における審査の概要につき、委員長の報告を求めます。

地域医療問題調査特別委員会委員長斉藤 実さん。御登壇願います。

（地域医療問題調査特別委員会委員長斉藤 実君登壇）

◎地域医療問題調査特別委員会委員長（斉藤 実君） ただいま議題となりました請願第2号救急医療施設を併設した安房医師会病院建設促進に関する請願書に係る地域医療問題調査特別委員会における審査の概要について御報告申し上げます。

本請願につきましては、平成7年6月議会において本委員会に付託され、その後継続審査となっていたものでありますが、8月17日、9月19日と2度にわたり委員会を招集し、また9月4日には医師会との協議会を開催し、医師会の実情等も確認しながら審査を行ったものであります。

審査の中で、市当局の地域医療に対する意見を求めましたところ、市としても、当地域に水準の高い病院があり、救急医療に対応できるのは好ましいことである。医師会とは緻密な連携を保っており、現在組織づくりをして検討を進めているところであると聞いている。総論から各論に入り、それに応じて広域市町村圏事務組合に対する要望が出てくると思うが、真摯に受けとめ、実現に向かって協力していきたいとの答弁がありました。

また、委員から、地域医療、救急医療施設の充実は市民の要望であり、市としても大いに促進していく事業の1つと考えるので、採択したいとの意見がありました。

採決の結果、本請願につきましては、全員一致をもちまして採択するものと決しました。

以上御報告申し上げまして、地域医療問題調査特別委員会委員長報告を終わります。

◎議長（辻田 実君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（辻田 実君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。
— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。
通告はありませんでした。討論はありませんか。— 討論なしと認めます。
よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。
本請願についての委員長の報告は採択するものであります。
本請願を委員長の報告どおり採択することに御異議ありませんか。
（「異議なし」と呼ぶ者あり）
◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、本請願は採択することに決しました。

継続審査について

◎議長（辻田 実君） 日程第3、請願の継続審査についてお諮りいたします。

文教民生委員会に付託中の請願第1号学習指導要領の抜本的見直しを求める請願書について、委員長から、会議規則第104条の規定により、閉会中の継続審査とされたいとの申し出がありました。

本請願を委員長からの申し出のとおり、閉会中の継続審査とすることに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、本請願は閉会中の継続審査とすることに決しました。

議長の報告

◎議長（辻田 実君） なお、この際申し上げます。

各委員会における陳情審査結果が報告されております。お手元に配付の印刷書により御了承を願います。

議案の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第4、認定第1号乃至認定第8号、平成6年度館山市一般会計並びに特別会計決算を一括して議題といたします。

決算審査特別委員会委員長報告

◎議長（辻田 実君） ただいま議題となりました各会計決算は、9月21日の本会議において特別委員会を設置し、付託されたものであります。

よって、これより決算審査特別委員会における審査の経過並びに結果につき、委員長の報告を求めます。

決算審査特別委員会委員長日下君敏さん。御登壇を願います。

（決算審査特別委員会委員長日下君敏君登壇）

◎決算審査特別委員会委員長（日下君敏君） ただいま議題となりました認定第1号乃至認定第8号、平成6年度館山市一般会計並びに特別会計決算に係る決算審査特別委員会におきます審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る9月21日の本会議におきまして本委員会に付託されました各決算につきまして、25日委員会を招集し、慎重に審査を行いました。

以下、委員会におきます質疑応答等、整理いたしまして、その概要を御報告申し上げます。

まず、一般会計歳出であります。第2款総務費であります。コミュニティセンター用地利用計画策定委託料について説明を求めたところ、文化ホール建設に伴う敷地全体の利用計画の策定である。内容は駐車場、構内道路、防災設備等であるが、今年度詳細設計を行っており、より明確になった時点で計画を示したいとの回答がありました。

次に、道路照明電気料負担金に関して、例えば富浦町のビワのデザインでつくった照明などのように、統一した道路照明を設置し、館山をアピールしてはどうかとの意見に対し、今のところ考えていないが、現在西口など新しいまちづくりが進んでいるところであり、その中で照明についても考えていきたいとの回答がありました。

次に、第3款民生費であります、老人デイサービス運営委託料に関して、利用者数の動向について説明を求めたところ、週のうち2日間館山市で利用しており、開設当初は人数が少なく、週1回のサービスが受けられたが、その後利用者が増加し、現在は2週間に1回の利用となっているとの回答がありました。

また、高齢者等住宅改造費用助成費の実績と枠の拡大について尋ねたところ、6年度予算において10件を見込み、実際には6件の利用があった。枠の拡大については、6月議会でも指摘があり、検討している。担当課としては拡大を図っていききたいとの説明がありました。

次に、第4款衛生費であります、合併処理浄化槽設置事業補助金について、その件数はどうかとの質疑に対し、6年度中に74基、累計で285基であるとの回答がありました。

さらに、合併処理浄化槽及び生活排水処理施設の設置による効果について尋ねたところ、海水浴場開設に係る水質検査は以前より良好な結果が出ているとの回答がありました。

次に、第6款農林水産業費であります、ホルスタイン共進会出陳者報奨金及び館山市ホルスタイン共進会委託料について説明を求めましたところ、報奨金については、安房ホルスタイン共進会及び千葉県ホルスタイン共進会への出陳者に対し、1頭5,000円の報奨金を支出しているものである。また委託料については、畜産奨励と安房及び千葉県の共進会出陳の選考を兼ねた共進会を館山市で実施しているものである。なお、畜産業者及び頭数については毎年減少しており、平成6年度の市の共進会出陳は23頭であるとの回答がありました。

次に、第7款商工費であります、公衆トイレ清掃謝礼及び公衆トイレ清

掃委託料についての質疑に対し、謝礼は、トイレ1カ所につき、過去の経緯から、地元へ清掃の謝礼として支出しているものであり、委託料については、商工観光課所管の北条海岸等15カ所の常設トイレ等について清掃業者等に委託しているものである。今後も基本的には業者委託を考えていきたいとの説明がありました。

また、同じく第7款商工費中第3目観光費の委託料において約210万円の不用額が出ていることについて理由を求めたところ、公衆トイレ清掃委託料について80万円、観光地美化事業委託料において100万円、それぞれ見積もり合わせの結果、金額が下がったものであるとの説明がありました。

次に、第8款土木費であります。下水道事業特別会計繰出金に関連して、下水道工事の進捗状況及び受益者負担金についての質疑に対し、現在第1期工事を開始しているところであるが、管渠については館山駅から北条海岸の間の工事に着手しており、面整備関係では約5.8%、処理場については約20%の進捗となっている。用地取得に関しては約37%の取得率となっている。また、いわゆる受益者負担金については、公共下水道の供用開始は平成11年度を目標としており、その1年ないし2年前くらいに条例化する予定である。金額的なことについては、現在資料収集の段階で、今後総合的に検討する予定であるとの説明がありました。

また、公園費に対し、ウエルネスリゾートパーク用地購入費が支出されているが、地価動向を踏まえ、単価の変更をしないかどうかについて説明を求めたところ、不動産鑑定評価に基づき、事前に地元説明を行い、買収を始めているので、現段階では単価の変更はないとの説明がありました。

次に、第9款消防費であります。消防施設費中、照明灯仮設工事請負費については、操法大会出場のための夜間訓練用の工事であるとの説明がありました。

次に、第10款教育費であります。小学校費中、スモールスクール振興会負担金についての関連質問では、スモールスクールとは複数の学年で1学級を構成する学校であり、館山市では神余小がこれに該当するとの回答がありました。

さらに、神余小の今後の方針についての質疑応答後、委員から、適正な規模での教育が望ましいと考えるので、地元の合意形成に努め、早期に統合の実現を要望するとの意見がありました。

次に、第13款諸支出金であります、庁舎建設基金積立金について、市庁舎建設は何年度を目標としているのか、また財政が逼迫しても今後積み立てをするのかとの質疑に対して、市庁舎の建設については、耐用年数、さらには現在上下水道等の事業を推進する中で財政的な問題もあり、現時点では建設の年度は決められない。しかし、庁舎は将来どうしても必要となるものなので、今後も積み立てるべきと考えるが、一方、市の大規模事業等もあり、この基金をどのように運営するかを含めて慎重に考えていくとの回答がありました。

次に、歳入であります、都市計画税については市全域を課税しているのか、また県下の状況はどうか説明を求めたところ、都市計画税は都市計画事業の貴重な財源であり、農振地域内の農用地を除く市全域を課税している。県下の状況については、都市計画区域のうち、市街化区域と市街化調整区域の線引きをしていない市は館山市を含めて10市、うち、課税しているのは7市であるとの回答がありました。

次に、国民健康保険特別会計であります、国民健康保険税の収入未済額について、滞納世帯に対し資格証や短期国保証を発行しているのかとの質疑については、納税に対する指導及び相談を行いながら資格証または短期国保証を発行しているところであるとの説明がありました。

次に、国民宿舎事業特別会計であります、鳩山荘の利用率は県下12施設中第7位となっているが、特別料理の設定やPR活動により、利用率の向上に努力しているとの説明がありました。

次に、討論を行いました。まず、厳しい財政状況の中で、年々増加する高齢者に対し、さまざまな施策を展開したことは評価するが、その内容において、助成額が少なかったことや、国、県に対し積極的な要望をしなかったことを指摘し、反対するとの討論がありました。

これに対し、本決算を総体的に見ると、予算議決の趣旨に沿って適正な執

行が行われたと認めるものであり、今後引き続き諸施策の推進のためには多額な財政需要が見込まれるので、市当局においては、議会、委員会での指摘事項を十分検討し、効率的な行政運営、予算執行に努めるよう要望して、賛成するとの意見がありました。

以上が質疑応答等の概要であります。

採決の結果、付託を受けました認定第1号、一般会計決算については賛成多数をもって、認定第2号乃至認定第8号の各特別会計決算については全員一致をもって、それぞれ認定すべきものと決しました。

以上、本特別委員会における審査の概要につきまして御報告申し上げます。決算審査特別委員会委員長報告を終わります。

◎議長（辻田 実君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（辻田 実君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。
— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。
通告はありませんでした。討論はありませんか。— 討論なしと認めます。
よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。
採決は分割して行います。
まず、認定第1号、一般会計決算について、起立により採決いたします。
本決算についての委員長の報告は認定であります。
本決算を委員長の報告どおり認定することに賛成の皆さんの起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（辻田 実君） 起立多数であります。よって、本決算は認定することに決しました。

続いて、認定第2号乃至認定第8号の各特別会計決算について、一括して採決いたします。

各特別会計決算についての委員長の報告は認定であります。

各特別会計決算を委員長の報告どおり認定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、各特別会計決算はいずれも認定することに決しました。

議案の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第5、発議案第12号及び発議案第13号の各議案を一括して議題といたします。

議案の朗読は省略いたします。

議案の内容説明

◎議長（辻田 実君） 提出者の説明を求めます。

8番増田基彦さん。御登壇願います。

（8番議員増田基彦君登壇）

◎8番（増田基彦君） 発議案第12号第6次海岸事業5箇年計画策定と計画規模の大幅な拡大に関する意見書について及び発議案第13号平成8年度河川改修事業の予算確保に関する意見書について、提案理由を御説明申し上げます。

海岸整備事業及び河川整備事業は、いずれも国民の財産を守り、安全で快適な国民生活を実現するために重要な生活基盤整備の事業であります。今なおその整備は低い状況にあります。よって、全県的な運動の一環として、これら諸事業の一層の推進を関係機関に強く要望いたしたく、7名の賛成者を得まして本案を提案いたしました次第であります。

何とぞ満場の皆さんの御賛同を賜りますようお願いいたしまして、提案理

由の説明といたします。

◎議長（辻田 実君） 説明は終わりました。

質 疑 応 答

◎議長（辻田 実君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長（辻田 実君） お諮りいたします。

各議案については委員会の付託を省略いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、委員会の付託は省略することに決しました。

討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。

討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。

採決は一括して行います。

各議案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、各議案は原案どおり可決されました。

閉 会 午前10時31分

◎議長（辻田 実君） 以上で本定例会に付議されました案件は議了いたしました。

よって、これにて第3回市議会定例会を閉会いたします。

◎本日の会議に付した事件

- 1 議案第50号乃至議案第52号
- 1 認定第1号乃至認定第8号
- 1 請願第2号
- 1 継続審査について（請願第1号）
- 1 発議案第12号及び発議案第13号

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

館山市議会議長

館山市議会副議長

館山市議会議員

館山市議会議員

